

レルミニ・Tタイプ取扱い説明書

TR（チルト&リクラ）電動車椅子



2019.3

(有)さいとう工房

2 安全に使っていただくために

① 乗車重量

レル・ライトは乗る人と持ち物の重量を合わせて 80kgまで乗せることができます。

② バッテリーと充電

バッテリーの充電が終わったら、充電用のケーブルを取りはずしてください。

車椅子で走る前には必ず充電用ケーブルが外れているのを確かめてください。

③ 水に濡れたら

この電動車椅子は防水性がありません。

雨や洗面所等で濡れたら、ジョイスティックモジュールやシートスイッチについた水は、布などで拭きとってください。

特にジョイスティックやスイッチ付近はていねいに拭きとってください。ゴムブーツの破損がある場合は『暴走』の危険があります。直ちに交換してください。交換が済むまで雨天での使用は控えるようお願いいたします。

電動車椅子を風呂場などの湿った部屋や屋外に放置しないでください。

3 走行と各部の操作

1 電動車椅子に乗って、図2. コントローラーの

「2電源ボタン」を押すと「1 バッテリー残量表示」のランプが点灯します。緑が3個点灯で満充電です。使用量に応じて、ランプが減ってゆきます。通常では、黄色のランプの範囲で充電をしてください。赤色ランプ2個の点滅が始まりましたら、直ちに充電をしてください。まもなく、走行できなくなります。

2 「4 速度上限設定ボタン」で最高速度を決めることができます。

右ボタンを押すと「3. 速度上限表示」の点灯ランプ数が増え、走行速度は高く設定されます。

左ボタンを押すと低い速度に設定されます。

室内など速度が出ないようにしたい場で使用する時に使いますが、スピードと共に力も減少します。

この車椅子の操作に慣れるまでは速度上限設定を高くしないようにしてください。

概ね、5個点灯で6km/h、4個で5km/h、3個で4km/h、2個で3km/h

1個で2km/h に設定してあります。

5 前と同じく「6 リクライニングボタン」を押せばジョイスティックで背もたれを傾けるリクライニング操作ができます。(写真⑩⑪)ジョイスティック左右に倒してもリクライニング/ティルトの切り替えができます。

図2. ジョイスティック装置

1 バッテリー残量表示

2 電源ボタン

警笛

3 速度上限表示

4 速度上限設定ボタン

5 リクライニング

6

7 ジョイスティック





ジョイスティックの下部に接続してください。 充電中



充電器本体



充電器スイッチ

4 主輪

この車椅子のタイヤ空気圧は $2.0 \sim 2.3 \text{ kPa}$ ($2.0 \sim 2.3$ 気圧) の範囲に保ってください。
空気圧調整は自転車・バイク販売店、ガソリンスタンドでもできます

釘などが刺さった場合は釘を抜き、穴を下に向けてください。空気が抜けている場合は、穴を下にして、空気を入れてください。防止剤が効きますと、パンクはしません。念の為、販売店でのチューブ交換をお勧めいたします。

パンクのしないリペアムゲルタイヤの使用をお勧めいたします。

5 前輪・後輪

前輪、後輪は弊社開発の HB キャスター(外国特許取得)を使用しています。

特徴はパンクしません。サスペンションが付いていますので、振動が少ない。

また、補助輪は、段差越えにも有効で、斜めからの段差への進入にも安心です。(段差時キャスター横向き防止装置)
幅が広いので、踏み切りでも安全です。



6 バックサポート

マジックテープ式による張り調整式のバックサポートです。バックサポートの形は重要です。適切に合わせてください。背クッションはプレスエアーと通気性のある低反発クッションでできています。表面の生地は水蒸気を透しますが、水ははじきます。大変蒸れ難いクッションになっています。

7 シートクッション

シートは固定式とベルト張り調整式があります。ベルト式は座高を低くしたいときに有効です。

オリジナルクッションとして、除圧にもすぐれ蒸れの少ないムースクッションもご用意しています

5 保守・点検・故障

日常の点検としては、タイヤの空気圧、出来れば各部のネジの緩みの点検・清掃。清掃もギアボックスからのオイル漏れ発見等、車椅子全体の状態を知る良い機会です、意識的にすることをお勧めいたします。

6 VR2コントロールシステムについて

VR2コントロールシステムはジョイスティックモジュールとパワーモジュールの2つで構成さ

れています。VR2コントローラーシステムは使用者に合わせて電動車椅子の動き(設定)をパーソナルコンピューターやハンディープログラマーを使って細かに変えることができます。使用者に合わせてプログラムすることはとても重要です。



パワーモジュール

ジョイスティックモジュール

機能説明

1809



標準形状



ティルト (35°)



バックレスト角を立てることも可
(アームレスト角は調整可)



ティルト&リクライニング (約 160°)

手動・電動切り替えクラッチ
(回転させる・左右ある)



様々なレバーを回転させ調整できます。



バッテリーインジケーター
(バッテリー残量)

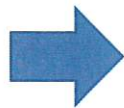
メインスイッチ

ホーン

右のボタンを押すと最高速度を速く設定します。

このボタンを押すと、走行モードから、座位変換モードになります。ジョイスティックを前後させることにより操作ができます。リフトやリクライニングに変換できますが、レバーを左右に動かすことにより、リフトとリクラを切り替えることもできます。

【クワドリリンク】左右あります
テーブルに入る時等、ジョイスティックは、後ろに移動できます。



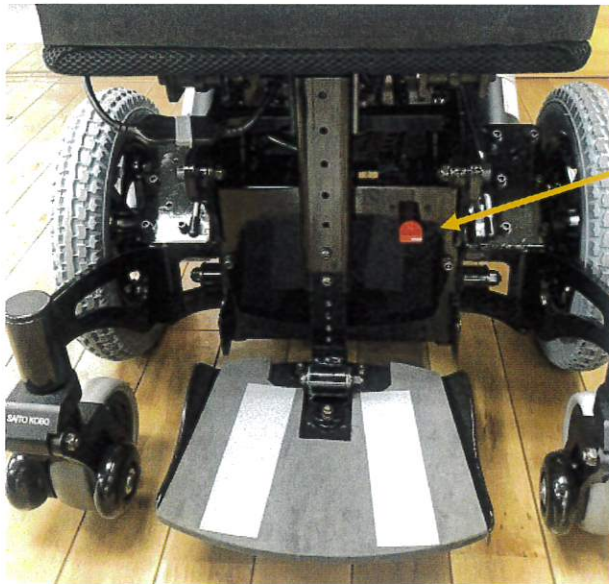
フットプレートはこのような起こすことができます。

航空機利用時の為に

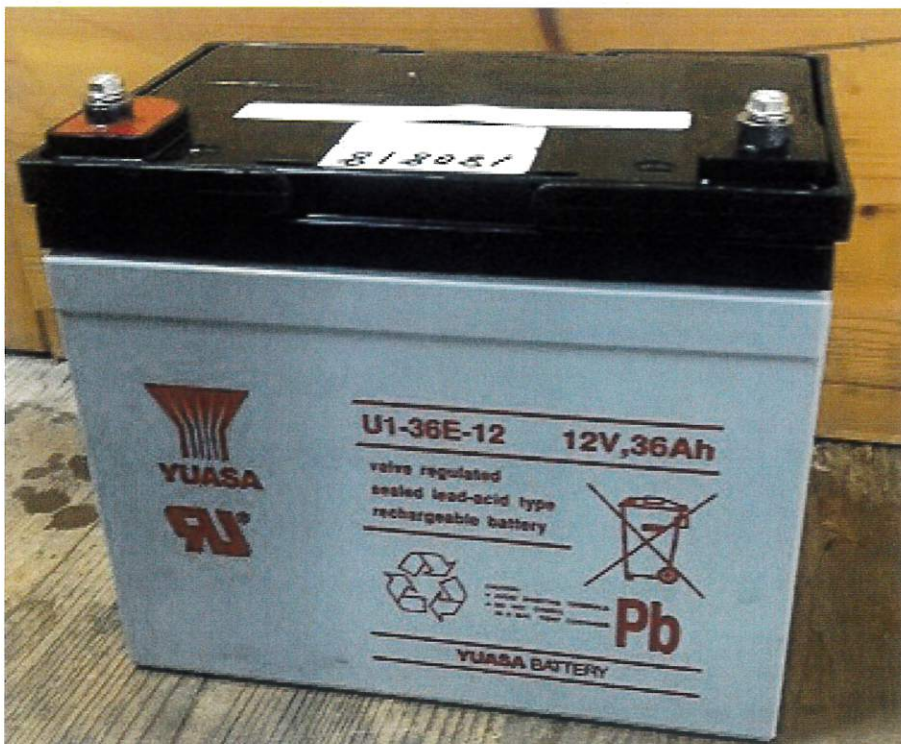
* この車椅子は飛行機搭乗用に防漏型（シールド型）鉛バッテリーを取り付けてあります。

* またバッテリーの取外しは困難ですが、下記のように大元電源を切るメインスイッチが付けられております。この赤色のスイッチを左に回すと切れ、操作制御もリフト等の操作もできなくなります。

いたずら防止の為に ON・OFF の表示はつけておりません。



メイン電源スイッチ



ユアサ製（防漏型）

鉛シールドバッテリー

U1-36E-12

12V-36Ah × 2 個使用